



地域とともに

教科書では、学べないことも。

北海道大樹高等学校

〒089-2155 広尾郡大樹町緑町1番地

Tel 01558-6-2063 FAX 01558-6-2868

HP <http://www.taiki.hokkaido-c.ed.jp>

文責 校長・高橋 豊

2年生「地域デザイン」道の駅から商業・観光を考える

6月15日(月)、2年生は「地域デザイン」で、十勝管内で人気の高い道の駅2か所、「道の駅ピア21しほろ」と「道の駅おとふけ なつぞらのふる里」を訪れ、その理由や工夫を考えるフィールドワークを行いました。それぞれ講話をいただき、その後、見学を行いました。翌日16日(火)には、地元大樹町の「道の駅コスモール大樹」を見学し、現在の取り組みや前日に見学した道の駅との比較を行い、地域産業の発展について考えました。

次のテーマは「福祉」です。大樹町福祉センターを訪問し、ふれあいカフェでの交流を行い、大樹町社会福祉協議会職員やふれあいサポーターとの事後学習を行います。



大樹小との連携授業 ～ 小2生活科と高2理科

6月11日(木)、大樹中央運動公園にて大樹小2年生と本校2年生による連携授業を行いました。当日は、公園内での「生きものさがし」と「ドッジボール」の2つの活動を通じて交流を深めました。

生きものさがしでは、高校生が見つけた生きもの名前を調べる手伝いをしたり、小学生は立ち入り禁止となっている湿地帯に高校生が代わりに入って生きものを探したりと、頼もしいお兄さん・お姉さんとして活躍しました。活動中、トンボやアメンボを捕まえることができ、自然に触れる貴重な時間となりました。ドッジボールでは、高校生がコート設営やルールの工夫を行い、小学生が安全に楽しめるよう運営を補助しました。高校生もプレイヤーとして参加し、小学生に負けない熱気で一緒に汗を流しました。

高校生から小学生に「今はまだできないこともあるけど、今チャレンジできることに全力で取り組んでほしい」「これからも元気に頑張って!」といった温かいエールを送りました。今回の連携授業は、高校生にとっても、他者理解を深め、自分たちの役割を再認識する大変有意義な機会となりました。今後も地域とのつながりを大切にしたい教育活動を続けてまいります。

